

## いわての復興教育



東日本大震災の発災から7年6ヶ月が過ぎました。県南教育事務所管内の各学校においても、「郷土を愛し、その復興・発展を担う子どもたちの育成」のために、実践的な防災教育を中心とした「いわての復興教育」が積極的に進められているところです。県南教育事務所では、「いわての復興教育」の充実のために、研修会等を通してその意義を共有するとともに、実践交流を図っています。また、これから学校の防災体制の確立と、防災教育の充実強化のための学校訪問を行います。

### 管内復興教育研修会

6月25日(月) 東山地域交流センター

#### 講義 「いわての復興教育の充実について」

講師：岩手県教育委員会 学校調整課  
主任指導主事 小松山 浩樹  
★「いわての復興教育」の、これまでの成果と課題や、推進に関わる留意点、本年度の方針などについて共通理解を図りました。



#### <H30の方針>

【持続的な「いわての復興教育」の体制整備】

○地域での「復興教育の取組の推進」を目指す。今までの各校の取組を生かし、地域の財産としてさらに発展、充実を図る。

- ①学校間の連携 ②外部専門家の活用 ③組織的取組
- (重点) 同校種、異校種、内陸と沿岸との連携

#### 講演 「東日本大震災避難所運営から学んだこと」

講師：一関市立室根東小学校  
校長 高橋 澄夫 先生  
★震災当時、山田町立大浦小学校長として、陣頭指揮にあられたときのご苦労や、震災を風化させないために、今後大事にしていくべき内容等について詳しく話していただきました。



#### <東日本大震災避難所運営を通して伝えたいこと>\*講演のW/Mより

- 教職員のプロとしての力のすごさと震災時の献身的な対応
- 地域との連携の大切さとその地域の「地域力」
- 「食」が支える復興への力
- 震災の経験を語り継ぐことが風化を防ぐ

#### <参会者の感想から>

・これまでに経験のない大きな災害であったのに、子ども達のために、地域のために精一杯避難所運営を行った校長先生をはじめとする教職員の皆さんの行動を誇りに思いました。

#### 実践発表 「いわての復興教育スクール」実践校の取組について

<奥州市立衣川中学校> 発表者：副校長 藤原 誠彦 先生  
「地域と連携した防災教育」～かかわりの中で備える～

- ・防災教育講演会(1)(自然災害のメカニズム等)
- ・防災教育講演会(2)(北上川の水害の歴史、洪水時の避難)
- ・小学校との連携(下校マニュアル、引き渡し訓練)
- ・地域との連携(地域防災訓練への参加、危険箇所の確認)
- ・防災マップの作成
- ・防災学習発表会(防災学習の成果と課題の共有)



<防災マップの作成のためのまち歩き>

<一関市立永井小学校> 発表者：副校長 大平 泰彦 先生  
「防災スクールとしての取組」～「そなえる」の充実を目指して～

- ・災害時児童引き渡し訓練
- ・防災教育講演会(自然災害発生メカニズム等)
- ・総合防災訓練(消火活動見学、防災体験授業)
- ・防災講話(アイオン台風を経験した方からの講話)
- ・防災マップの作成
- ・陸前高田市小友地区訪問(被災体験理解学習、避難体験学習)
- ・防災標語コンクール



<被災体験理解学習>

#### <研修者の感想から>

・実践発表を通し、改めて自地区の歴史を知り、万全の備えが必要であることを痛感させられた。  
・防災学習と言っても様々なアプローチの仕方があることを学びました。継続すること、想定することがとても大切であると思いました。両校の実践発表から多くのことを学ぶことができました。

### 各種研修会(初任研、5年研、中堅教諭等資質向上研)での講義「いわての復興教育について」



岩手県の教員のよりどころとなる「いわての復興教育」についての理解を深め、充実を図るために、「いわての復興教育」の意義や基本的な考え方、今年度の重点等についての講義を行いました。

震災の記憶がない子ども達が増えていく中で、復興教育を進めていくためには、教員が震災についてよく知る必要があります。震災を風化させず、輝く子どもの未来へつなげる「いわての復興教育」の充実についてよろしくお願いいたします。

### 防災教育に関わる学校訪問事業

東日本大震災津波の教訓と近年の気象災害を踏まえ、学校の防災体制の確立や、防災教育の充実強化のために担当者が学校を訪問しております。平成26年度から始まった本事業ですが、本年度は、管内15校の学校を訪問します。主な内容は、ア 防災体制及び防災教育、イ 学校安全計画、ウ 危機発生時対処要領(危機管理マニュアル)についての意見交換となります。

既に学校訪問を終えた学校についても、状況に応じて、自校の学校安全計画や危機管理マニュアルの見直し等を行い、防災体制の確実な確立と防災教育の充実についてよろしくお願いいたします。